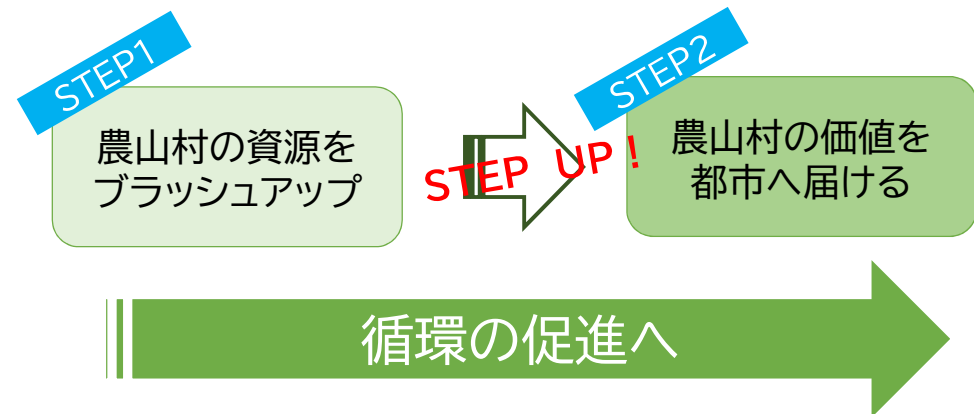
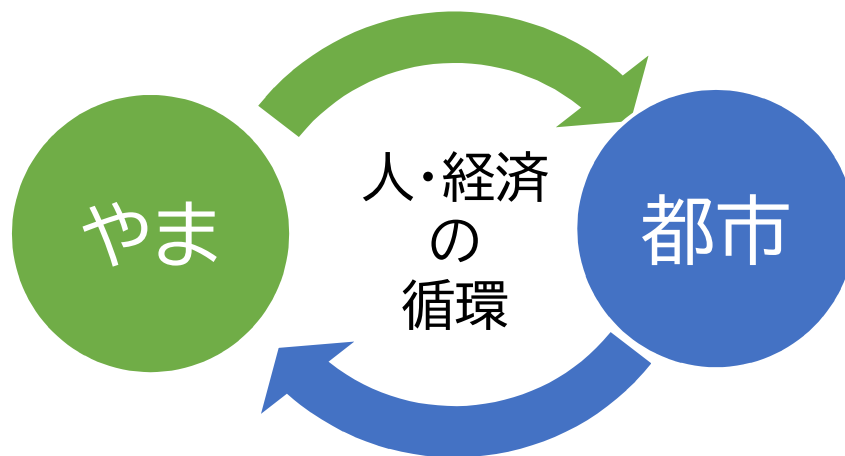




「やまの健康」の取組について

- 「やまの健康」とは
 - ・ 「やま」には課題(高齢化・人口減少・森林や農地の荒廃等)がある一方で食材や木材、癒しの空間などの豊かな恵みもある。
 - ・ 都市と「やま」がつながり、ひとや経済が循環することにより、「やま」を訪れる人も、「やま」も元気になる「やまの健康」を目指す。
- 「やまの健康」取組開始(令和元年度)から4年が経過し、ステップアップする段階に。



「やまの健康」の将来像(20年後)

- 森林・林業・農山村を一体的に捉え、森林・農地が適正に管理され、多面的機能が持続的に発揮される姿。
- 自然からの豊かな恵みを持続的に享受することで、農山村と都市において、自然と共生する健康で幸せな暮らしを送っている姿。



「やまの健康」推進プロジェクト 取組の経過と今後の方向性

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度～
農山村と都市の両面での事業展開 やま(農山村) 都市 関係人口創出 都市の課題解決	地域資源活かし 魅力向上 人・経済循環創出	モデル地域(5地域) 令和元年度:2地域 令和2年度:3地域 選定 <ul style="list-style-type: none"> 『「やまの健康」宣言』に基づき地域住民主体で活動 交付金(3年間)、「やまの健康」推進プロジェクトチーム(PT:庁内8所属)による助言等により支援 				モデル地域における支援実績を活かし、「農村RMO形成支援」等PT各課の事業を連携して実施することにより他地域への横展開を図る
		普及啓発 ・シンポジウム開催 ・「やまのおっ山」登場 ・スポーツ「レイクッド」開発   「野洲のおっさんおにぎり食堂」伊吹北部地域産のミヨウガを使用したおにぎり ・民間事業者の事業を通じた啓発 ・動画等作成				地域活動振り返り 地域間交流 モデル地域の活動成果を活かし、都市部に向け発信 ・SNSやSMOUT等による発信 ・都市との交流イベント(大阪) ・「ここ滋賀」での物販 等
		PT関連事業 【農村振興課】農山村お試し移住／企業・大学等と農山村地域の協働(協定締結)／若者と農山村の関係づくり／中山間地域リーダー育成 【みらいの農業振興課】獣害対策集落活性化 【住宅課】空き家対策 【商工政策課】地域資源を活かした仕事おこし 【市町振興課】移住体験イベント・デジタル地域コミュニティ通貨「ピワコ」等を活用した関係人口拡大 【観光振興局】シガリズムコンテンツ創出／ワーケーション推進				
		生涯を通じた「やま」との関わり 森林空間活用 緑の少年団 「やまのこ」しが自然保育 もりづくりアカデミー 森林サービス産業 事業方向性検討・人材育成プログラム開発(3地域:長浜・栗東・高島) 県内資源調査 				STEP1 農山村の資源をブラッシュアップ STEP UP! STEP2 農山村の価値を都市へ届ける 【やまの健康2.0】
		木育の推進 普及啓発イベント 木育ビジネス化 木育製品の貸出 木育指導者育成 企業と「やま」のマッチング 琵琶湖森林づくりパートナー協定 				

農山村側

「やまの健康」モデル地域
主な取組成果

【令和元年度選定地域】
大津市葛川地域／米原市伊吹北部地域

【令和2年度選定地域】
栗東市金勝地域／甲賀市大原地域
高島市南深清水地域



大津市葛川地域

【やまの健康宣言 主な取組項目】
住民の山・林業への関心を取り戻し、地域ぐるみで適切に管理
獣害に強いリンドウ栽培を核とした地域振興
地域主体のカーシェアリングの取組

- 【主な活動成果】
- 新たな特産品としてリンドウ栽培開始し、令和3年度には大阪の市場へ出荷
 - 地域のスギ・ヒノキを使ったアロマオイル商品化
令和4年度からは道の駅や「ここ滋賀」で販売
 - 地域住民によるカーシェアリング事業実施



米原市伊吹北部地域

【やまの健康宣言 主な取組項目】
森林空間整備によりやまに人が入る仕組みづくり
伝統の炭焼きを復活 地域食材で6次産業
ドローン活用(獣害への対応 新たなビジネス)

- 【主な活動成果】
- ドローン練習場併設のキャンプ場運営開始
 - 薪や木製コンポストを製造・販売
併せて地域の若者に対し伐採や薪製造の指導
 - 地域の食文化をテーマにした都市交流イベント開催
 - 炭焼き体験イベントを開催するとともに、炭を販売



栗東市金勝地域

【やまの健康宣言 主な取組項目】
体験の提供・販売(農業・林業体験やアウトドアアクティビティ等)
森林・農地の適正管理
山がある暮らしの提案

- 【主な活動成果】
- ウェルネスツーリズム商品開発
「シガリズム」コンテンツとして森林ヨガ体験販売開始
 - マウンテンバイクコース整備など、コンテンツ開発
 - 企業や大学と協働した農業体験イベント開催



甲賀市大原地域

【やまの健康宣言 主な取組項目】
山林の境界明確化
山を見直すきっかけづくり、山で住民同士がつながる取組
木材資源の循環仕組み(福祉作業所連携、地域通貨)

- 【主な活動成果】
- 「木の駅」に持ち込まれた木材を地域通貨に交換
林福連携により薪をキャンプ場に出荷
 - 地域住民に山に関心を持ってもらうための里山体験イベント開催
 - 地域住民主体の境界明確化の取組



高島市南深清水地域

【やまの健康宣言 主な取組項目】
ウェルネスツーリズムモデル構想
「食」オリーブ栽培・6次産業化
「運動」各種体験プログラム提供
「観光」SNS映えするスポット整備 農業体験受け入れ

- 【主な活動成果】
- 大学と協働したオリーブ等の栽培・商品開発
(オリーブ茶、ハーブティ、柿ジュレ等)・販売
 - 農業体験受け入れ(中学生～大学生)
 - 大学・企業と協働し「柿まつり」等の都市交流イベント開催
 - インスタグラム発信(フォロワー約3000人)



都市側

「やまの健康」 都市へ向けての主な取組状況 【ライフステージや興味・関心に応じた「やま」との関わり】

人材やノウハウ等
これまでの成果を活かして

STEP UP!

【やまの健康2.0】

森林空間活用

個人

- 【幼児】しが自然保育（令和2年度～）10団体を認定
- 【児童】「やまのこ」（平成19年度～）9施設 13.6千人（令和3年度）
緑の少年団 63団 5.5千人（令和4年度）
- 【一般】ながはま森林マッチングセンター プログラム提供（平成28年度～）



STEP UP!

対象を
拡大

企業

- 【森林サービス産業創出】
- ・ 企業のSDGs や健康経営の実践へのニーズに応えられる森林環境教育や健康づくりプログラム提供を目指す
- ・ 長浜市、栗東市、高島市の地域関係者による森林サービス産業創出を支援（令和4年度～）



都市とやまをつなぐ
【やまの健康2.0】

- ・ 都市部の多様なニーズに応じて「やま」から新たな価値を届ける
- ・ メニュー整備と体制づくり
CO2吸収・森林空間活用・木育・木材利用など

林業・森林整備
木育

- 【林業人材育成】滋賀もりづくりアカデミー（令和元年度～）
新規就業コース受講者 15人（令和2年度～）
- 【木育】普及啓発イベント 5回 木育製品貸出 34か所
木育ビジネス化 2件 指導者育成 17人
（～令和3年度末までの実績）
- 【企業の森づくり】
琵琶湖森林づくりパートナー協定 19協定（平成17年度～）
- 【滋賀県内の森林由来のCO2クレジット】
びわ湖・カーボンのクレジット
パートナー協定 6協定（令和2年度～）



農山村の

- ・ 資源の活用
- ・ 人材の活躍

の推進へ